

日本放送協会 理事会議事録

(2019年 7月 2日開催分)

2019年 7月19日(金)公表

<会議の名称>
理事会

<会議日時>
2019年 7月 2日(火) 午前9時00分～9時15分

<出席者>
上田会長、堂元副会長、板野専務理事、児野専務理事・技師長、
荒木専務理事、松原理事、黄木理事、中田理事、鈴木理事、松坂理事
正籬理事
今井特別主幹、坂本特別主幹
高橋監査委員

<場所>
放送センター 役員会議室

<議事>
上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 報告事項

- (1) 考査報告
- (2) 「第25回参議院議員通常選挙」に伴う政見・経歴放送の編成計画および実施体制について
- (3) 放送番組審議会議事録(資料)

議事経過

1 報告事項

(1) 考査報告

(考査室)

2019年5月13日から6月25日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース25項目、番組85本の考査を実施しました。

ニュースでは、川崎市の路上でスクールバスを待っていた小学生らが刺されて20人が死傷した事件で、事件発生をいち早く伝え、その後も計画的犯行であったことを独自情報を交えて伝えました。大阪府吹田市での拳銃強奪事件でも、発生や容疑者逮捕を速報し、捜査状況を独自情報などで伝えました。アメリカのトランプ大統領が令和初の国賓として来日したことを詳しく報じ、金融庁が「老後に約2,000万円が必要」などとした審議会の報告書について、麻生副総理兼金融相が受け取らないことを表明し、野党側は批判して追及を強めていることなどについて伝えました。

番組では、不登校の問題を公立中学の長期取材や独自調査などで詳しく伝えた「NHKスペシャル シリーズ子どもの“声なき声” 第2回『“不登校” 44万人の衝撃』」（総合・5月30日放送）、大きく変わろうとしている保釈のあり方を考えた「クローズアップ現代+（プラス） もし逮捕されたら…司法が変わる」（総合・6月22日放送）、お笑い芸人や人気コスプレイヤーらのひとり暮らしの様子を4分割画面で定点観測風に伝えた「金曜日のソロたちへ」（総合・5月31日放送）、世界遺産のペルー・マチュピチュ遺跡から世界初の4K生中継を実施した「BS放送開始30周年記念番組 謎の天空遺跡 マチュピチュ大中継 第1日」（BS4K・6月1日放送）などを考査しました。

地域番組では、水道事業の課題を先取りしている北海道の現状を伝え解決策を探った「北海道クローズアップ あなたの町の水道が危ない!？」（総合・北海道ブロック・5月17日放送）、豊後水道を挟んだ愛媛・大分両県の魅力を競い合った「フカイロ!×ひめDON! 対決 豊後水道でおもてなし」（総合・愛媛県域・5月17日／大分県域・5月24日放送）などを考査しました。

また、国際放送「NHKワールド JAPAN」では、ニュース6項

目と番組3本の考査を実施しました。

地域の現状を世界に発信するため、新年度編成に合わせて14分で放送した地域からの特集に松江局が挑んだ「NEWSLINE IN DEPTH」（日本時間6月7日放送）、外国人のSNS投稿などをもとに“着いてすぐ役立つ観光情報”として東京・両国を取材した「#TOKYO RYOGOKU」（日本時間6月1日放送）などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

（2）「第25回参議院議員通常選挙」に伴う政見・経歴放送の編成計画および実施体制について

（編成局）

7月4日に公示され7月21日に投票が行われる「第25回参議院議員通常選挙」に伴う、政見・経歴放送の編成計画および実施体制について報告します。

政見・経歴放送の編成計画については、総合テレビとラジオ第1において視聴好適時間に編成するとともに、その公正かつ適切な実施に万全を期します。編成する期間については、原則として、東京では7月8日から投票日の2日前の7月19日までの土曜日・日曜日を除く10日間以内です。ただし、東京以外の各放送局では投票日の3日前の18日までの期間のうち、土曜日・日曜日を除く9日間以内に編成します。

放送回数については、公職選挙法などの規定により、比例代表政党政見放送は、名簿届出政党等の1回の放送単位を17分以内とし、名簿登載者の数に応じて、テレビでは2～8回のいずれかの偶数回、ラジオでは1～4回のいずれかの放送回数とします。選挙区政見放送は候補者1人について1回の放送を5分30秒以内とし、回数は全国一律にテレビ、ラジオとも2回ずつとします。また、経歴放送は、候補者1人につき1回30秒以内とし、テレビでは政見放送の冒頭に行う分のほかに経歴単独の放送を1回、ラジオでは政見放送の冒頭に行う分も含めておおむね5回実施します。

具体的な編成時間帯については次のとおりです。

比例代表政党政見放送は、全国放送で実施し、総合テレビでは、月～金曜日の午前9時05分～10時00分と午後10時30分～11時2

5分に、ラジオ第1では、月～金曜日の午後4時05分～5時00分に編成します。選挙区政見・経歴放送は都道府県ごとに実施し、原則として、総合テレビでは、月～金曜日の午前7時30分～7時56分と午後6時25分～6時51分に、ラジオ第1では、月～金曜日の午前7時25分～7時51分と午後0時30分～0時56分に編成します。経歴の単独の放送は、総合テレビでは、月～金曜日の午前11時50分～11時54分に、ラジオ第1では、月～金曜日の午前11時50分～11時55分や午後6時50分～6時55分に編成します。ただし、東京・大阪・名古屋の大電力放送区域の都府県は、選挙区政見・経歴放送や経歴単独の放送を、これらの時間帯以外にも編成します。

また、地域の人々が通常視聴している放送エリアの実情に応じて、選挙区政見・経歴放送を他県の放送局も中継放送してカバーする「出入中継」を実施します。具体的には、ラジオ第1で、長崎放送局が実施する「長崎県選挙区」の政見・経歴放送、および大分放送局が実施する「大分県選挙区」の政見・経歴放送を、それぞれ福岡拠点放送局でも放送します。

最後に、政見・経歴放送の実施体制については、放送総局長を実施本部長とする政見放送実施本部を設置し、編成局、広報局、放送技術局、技術局を中心に、その他の部局の応援も得ながら実施していきます。

(3) 放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の2019年5月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2019年 7月16日

会 長 上 田 良 一